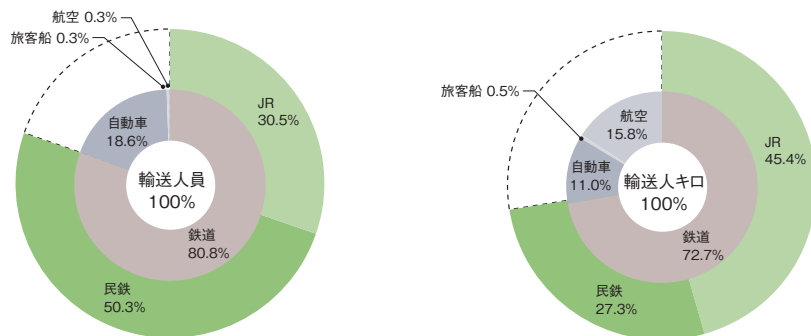


# 4 交通機関として民鉄が担う役割

## 4-(1) 旅客の公共輸送機関別分担率

2019年度の国内旅客輸送における民鉄の輸送分担率は輸送人員ベースで50.3%、輸送人キロベースで27.3%を占めています。環境保護やエネルギー効率などの面から、公共交通機関の利用促進が求められているなか、民鉄が旅客輸送の重責を担っていることが読み取れます。

旅客の公共輸送機関別分担率(2019年度)



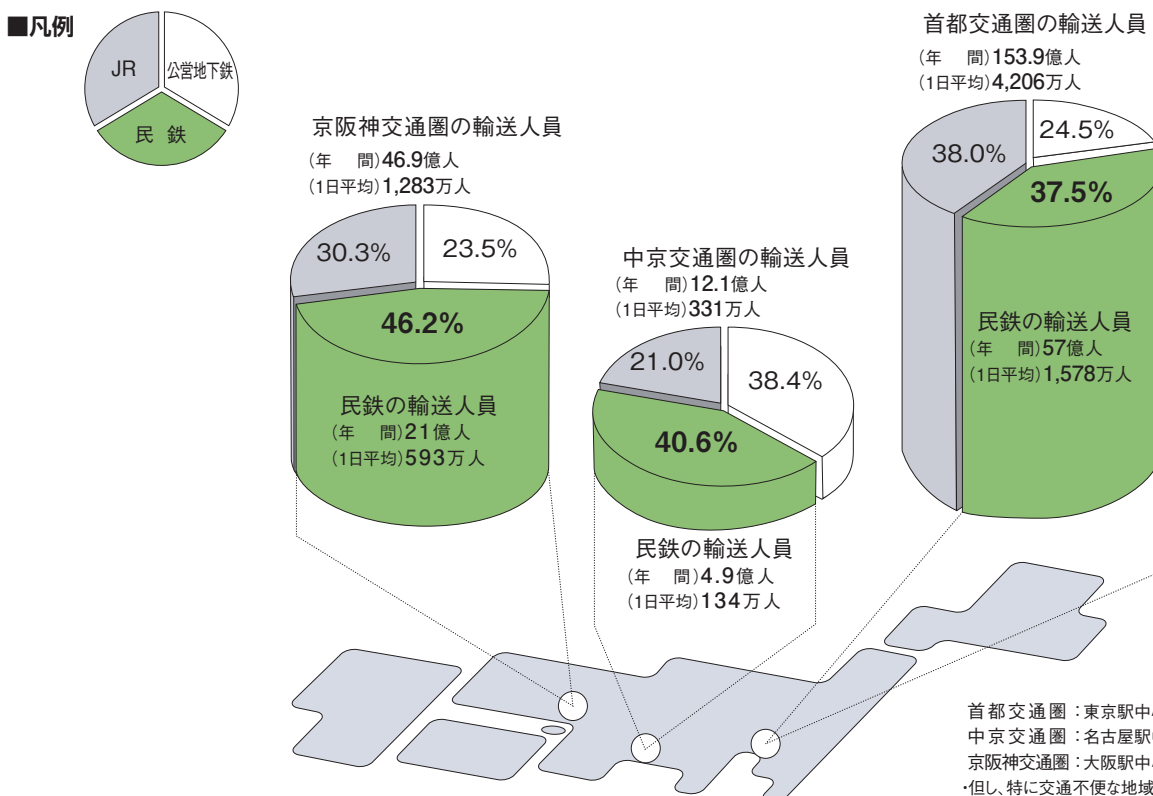
※円グラフの割合は、四捨五入のため、合計は必ずしも100%にならない。

資料:国土交通省「数字でみる鉄道2021」

## 4-(2) 民鉄の輸送人員の割合(三大都市圏)

東京・名古屋・大阪を中心とする三大都市圏の鉄軌道の年間輸送人員(2015年度)は約213億713万人(1日平均約5,821万人)で、そのうち民鉄の占める割合は、首都交通圏で37.5%、中京交通圏で40.6%、京阪神交通圏で46.2%となっており、大都市圏の基幹的な交通機関として、大きな役割を担っています。

三大都市交通圏の交通機関別鉄軌道輸送人員の割合(2015年度)



※円グラフの割合は年間の人員による。  
 ※四捨五入のため、合計は必ずしも100%にならない。  
 ※東京メトロは公営地下鉄に含む。

資料:一財)運輸総合研究所  
 「平成29年版 都市・地域交通年報」